

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（3月12日～3月18日掲載分）
- 2 現場レポート
 - ・鹿児島～奄美群島航路に、島民待望の最新鋭カーフェリーが就航！
 - ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」の食わず嫌いが解消！
- 3 お知らせ
- 4 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （3月12日～3月18日掲載分）

----- 報道発表 -----

「海フェスタくまもと」シンボルマーク・標語が決定しました

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2015-0316-ryokaku.pdf>

離島の車検に係る負担を軽減

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2015-0317-gijutsu.pdf>

----- お知らせ -----

平成26年度第2回自動車検査員教習修了者について（公示）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2015-0317-seibi.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

物品・役務入札公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《行政処分状況》

個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

（一般乗合旅客 27年2月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/niriai26.htm>

（一般貸切旅客 27年2月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri26.htm>

（一般乗用旅客 27年2月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou26.htm>

（一般貨物 27年2月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu26.htm>

（一般貨物（過積載） 27年2月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai26.htm>

----- 分野別情報 -----

《バス・タクシー・トラック》

運転者講習を実施する者一覧更新（H27.1.14現在）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file14/jika-daijin-ninte
i270114.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file14/jika-daijin-ninte
i270114.pdf)

《物流》

倉庫業の新規登録状況（H26.12、H27.2分新規掲載）

----- その他 -----

「海フェスタ」バナー新規掲載

<http://www.umifesta-kumamoto.com/>

2 現場レポート

鹿児島～奄美群島航路に、島民待望の最新鋭カーフェリーが就航！

奄美海運株式会社が運航する鹿児島～喜界～知名航路は、鹿児島県本土から喜界島、奄美大島、徳之島、沖永良部島まで659kmを結ぶ海上定期航路であり、旅客や自動車はもちろん、島民の暮らしを支える食料品など生活必需物資や建設資材、離島で生産された農畜産物の出荷などに大きな役割を果たしているものです。

そしてこの度、本航路のカーフェリー2隻のうち、老朽化した1隻を代替建造したことにより、本年3月5日から新しいカーフェリーが就航しました。「フェリーきかい」と命名された新船は、総トン数2,551トン、全長102mのバリアフリー対応型の省エネ効率化船舶であり、さまざまな最新鋭の設備が搭載されています。

まずは、本航路が各島の住民にとってかけがえのない生命線であり、安定的な運航確保や安全性の向上はもちろん、利用者からは長時間となる居住環境の改善を強く望む声があることから、スピードアップなど航海性能の向上とあわせて、プライベートルームや授乳室、シャワールーム等を新設・充実し、お年寄りや小さな子供連れの方にも、利用しやすい船内環境の実現が図られています。

また、奄美群島が「奄美・琉球世界自然遺産」の有力候補となっていることで、昨今増加傾向にある観光利用客に対しても、レストランスペースの24時間利用化や個室型客室の拡充を図るとともに、最新のIT技術により、航海中の動静や目的地の到着時間をエントランスの電子パネルで案内するなど、快適な船旅が提供できるよう工夫がなされています。さらに、奄美航路では初めてとなるストレッチャーごと搭乗できるエレベーターを設置することで、災害・緊急時の対応にも配慮した設計となっています。

就航前に、本船の母港となる鹿児島市をはじめ、各島で行われた船内見学会においては、「新造フェリーの就航を待ちわびていた」「奄美群島の活性化にとって重要なツールとなる」との声が聞かれるなど、新船に対する高い評価とあわせて、島民の生活利便性の向上や地域振興、地域経済の振興への大きな期待を乗せての「出航」となっています。

「フェリーきかい」就航は、下記URLからご覧頂けます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_301_1.pdf

【鹿児島運輸支局 運航担当】

「危険物船舶運送及び貯蔵規則」の食わず嫌いが解消！
～平成26年度第2回長崎地区国庫補助航路実務担当者会議を開催～

長崎運輸支局では、平成27年3月13日（金）長崎地区国庫補助航路実務担当者

会議を開催しました。当支局では、「国・県・市町そして航路事業者間で何でも話せる関係作り」をモットーに、昨年度から定期的に本会議を実施しています。

通算3回目となります今回は、事業者より寄せられておりました「危険物輸送に関して説明をして欲しい」という要望を受けて、旅客船による危険物輸送に関する講義を中心とし、長崎支局管内にある国庫補助航路事業者、そして、国・県・五島市・新上五島町といった関係行政機関の担当者、総勢20名が参加し研修会方式で行われました。

今回のメインテーマである「旅客船による危険物輸送」についてですが、「危険物船舶運送及び貯蔵規則」と聞くと、ご存じの方は「あの分厚い規則の説明か」と、ついつい敬遠してしまうと思います。後々聞いてみると、参加者の多くが、同様のことを感じていたようです。

しかし、講師の船舶検査官から、規則の概要からはじまり、同規則告示別表第一の見方等、「を運んで欲しい」という依頼があったときどう確認するのかについて具体的な説明が行われました。

説明が終わる頃には、「規則の見方が分かれば意外に判断できる!」「判断する拠り所がわかっただけでも、今日出席してよかった」といった声が聞かれ、参加者の評判は上々で、規則に対する食わず嫌いを克服できただけでも、今回の会議はやってよかったと思ったところです。

その後、通常の補助航路行政にかかる意見交換会に移りました。

国や県から、平成27年度の補助金事務について事務処理の流れなどの提案を行い、それに対して参加者全員で意見交換を行いました。

3回目の会議ともなると、補助制度に対する要求・要望というよりは、「各自治体間の連携強化を!」「我々、航路事業者だけでなく、行政関係者も航路の目指すがたを一緒に考えて欲しい!」といった趣旨の要望が寄せられ、離島航路の維持はもはや、事業者単独の努力だけではまならないことを痛切に感じました。

今後、地域が離島航路のあるべき姿などに積極的に関与し、航路事業者が抱える課題など、関係者間で一緒に考えていくことが必要になってくると思います。

長崎運輸支局としては引き続き、離島航路を取り巻く関係者間の連携強化などを通じて、離島航路の確保維持のための縁の下の力持ちとして、離島航路支援に向けて努力していきたいと思えます。

【長崎運輸支局 運航担当】

3 お知らせ

『海フェスタくまもと』のシンボルマークと標語が決定しました!

当メールマガジン286号~291号にわたって『海フェスタくまもと』のシンボルマークと標語の募集についてお知らせしていましたが、3月16日、海フェスタくまもと実行委員会から結果発表がありました。

全国からシンボルマーク371点、標語1,408点の応募がありました。ご応募いただいた読者の皆様、ご協力ありがとうございました。受賞作品は『海フェスタくまもと』公式サイトでご確認ください。

『海フェスタくまもと』は、平成27年7月18日から8月2日まで熊本市・天草市・玉名市・宇城市・荒尾市・宇土市・上天草市・長洲町での開催に向け、準備が進められています。

九州運輸局は『海フェスタくまもと』を応援しています！

『海フェスタくまもと』公式サイトは下記URLからどうぞ
<http://www.umifesta-kumamoto.com/>

海の日・海フェスタについては下記URLからどうぞ
http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000026.html

【海事振興部 旅客課】

【募集】あなたのご意見をお聴かせください！

～平成27年度「国土交通行政インターネットモニター」を募集します～

国土交通省は、皆さまから広くご意見お聴きして、国土交通行政に反映させることを目的として『国土交通行政インターネットモニター』を募集します。
多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

募集者数

全国で1,000名程度

募集期間

平成27年3月2日(月)～平成27年3月31日(火)

その他

応募方法・応募資格・モニターのお仕事など詳細は下記URL(平成27年度「国土交通行政インターネットモニター」募集要領)よりご確認ください。

<https://www.monitor.mlit.go.jp/pdf/gaiyo02.pdf>

4 イベント情報

第65回都城もちお桜まつり

日時：平成27年3月27日(金)～4月5日(日)

場所：宮崎県都城市横市町(都城市母智丘公園)

概要：南九州を代表する春の風物詩として知られる都城もちお桜まつりは、半世紀以上の年月を重ねた、都城でも有数の歴史あるまつりです。母智丘公園の桜並木は、もちおの千本桜として知られており、「日本さくら名所100選の地」にも選ばれています。春の訪れとともに壮麗で見事な花を咲かせる都城の母智丘の桜を存分にお楽しみください。まつり期間中は、ライトアップが予定されています。

おおむら花まつり

日時：平成27年3月25日(水)～6月20日(土)

場所：長崎県大村市(大村公園・裏見の滝自然花苑)

概要：大村公園では、天然記念物のオオムラザクラを含む桜約2,000本(3月下旬～4月上旬)約30万本のハナショウブ(5月下旬～6月中旬)が、見事に咲き誇ります。夜にはライトアップされ、大勢の見物客で賑わいます。また裏見の滝自然花苑では、世界のシャクナゲ45種5,800本が4月上旬から5月上旬まで見頃を迎えます。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

この数日、とても暖かい日が続いています。

福岡では最高気温が20度を超える日もあり、コート無しで通勤するサラリーマンの姿も多くなりました。我が家ではファンヒーターの灯油をあと1回買おうかと思っ
ていましたが、どうやらその必要はなさそうです。

日本気象協会HPの桜情報では、九州の開花予想は3月25日頃とのこと。

桜の季節は、直ぐ近くまで来ています。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、
本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192